目指すべき姿	KPIの名称	単位	上段:目標値 下段:実績値 R6	R7	R8	R9	R10	R7年度 実績値の分析、課題、今後の方針	目標値の 考え方	担当部署
誰もが松江の伝統文化芸術を誇りに思い、 心豊かに過ごせるまち	「松江の伝統文化芸術を誇りに思い、心豊かになれるまち」だと考える市民の割合	%	65.0 62.3	65.2 62.0	68.1 —	71.0	73.9	目標値は達成しなかったものの、どの世代においても昨年度より肯定的な回答が増加した。今後も分かりやすい情報発信や、幅広い世代が伝統文化芸術に触れる機会を確保することで、松江の文化力の魅力を実感することで心の豊かさへと繋げていく。	毎年＋2.9%	文化スポーツ部

４つの課題	KPIの名称	単位	上段:目標値 下段:実績値 R6	R7	R8	R9	R10	R7年度 実績値の分析、課題、今後の方針	目標値の 考え方	担当部署
効果的な 情報発信	松江市ホームページ文化関係ページのアクセス数【4月～3月】	件	230,000 147,556	140,000 166,372	142,000 64,022	144,000	146,000	前年と比較して、閲覧数が飛躍的に増えている。 令和8年度も7月末時点で目標値の半数に近づいている状況である。 (R8中間:7月末時点)	毎年＋2,000件	文化スポーツ部
	New 松江歴史館収蔵品データベースのアクセス数【4月～3月】	件		4,400 2,399	4,500 521	4,600	4,700	R7年度の実績値が、目標値の約2分の1であった。松江歴史館収蔵品データベースについて広く周知するための情報発信が必要である。 (R8中間:7月末時点)	毎年＋100件	文化スポーツ部
	New 市から発信された情報がわかりやすいと感じる市民の割合	%		55.0 46.2	55.0 —	55.0	60.0	文字だけではなく、イラストやグラフ、表などの視覚的にわかりやすい手法を利用しながら、誰でもわかりやすい情報発信を行う。また、アクセシビリティのチェックを注意深く行うことにより、障がいのある方などもわかりやすいHPの作成に努める。	R10年度の目標値60.0%に向け、段階的に設定	政策部
鑑賞・体験・ 学習の機会 の確保	New 年1回以上、市内で開催される演劇やコンサート等を鑑賞したことがある市民の割合	%		45.0 44.6	47.0 —	49.0	51.0	演劇やコンサート等の鑑賞が身近に感じられるよう、各公演やイベントについてSNS等を中心に効果的な情報発信を行い、きめ細かな情報提供が継続されることにより鑑賞習慣の醸成を図る。 *数値調査については次回R10に実施する。	毎年＋2%	文化スポーツ部
	歴史・文化資源のまち歩き参加者数【4月～3月】	人	240 103	120 137	120 46	120	120	R7年度は歴史のまち歩きを7回開催し、応募者総数は379人、参加者総数は137人であった。各回において、定員を上回る応募（需要）があるが、市主体で実施するまち歩きでは、受け入れ体制に限界があるため、公民館等の各地域主体のまち歩きの実施について、協力を求めていく必要がある。 (R8中間:7月末時点)	20人×6回	文化スポーツ部
	松江歴史館観覧者数【4月～3月】	人	53,000 49,449	54,000 69,132	55,500 14,390	57,000	58,500	R7年度の観覧者数の合計は69,132人で、R6年度の49,449人と比較して約39.8%増加した。特に12月以降に伸びており、連続テレビ小説「ばけばけ」の放映による観光客の増加や連続テレビ小説に関連する冬企画展の開催、冬企画展の実施時期を例年よりも早くまた期間も長く開催したこと等が要因と考えられる。入館者数も昨年度と比較して増加しているが、入館者数と観覧者数が大きく乖離しているため、入館者を観覧につなげる広報等が必要である。 (R8中間:7月末時点)	毎年＋1,500人	文化スポーツ部
後継者・ 担い手育成	New 地域行事(お祭りや伝統文化など)に参加したことがある(中学生、高校生、大学生等)の割合	%		66.0 55.5	68.0 —	70.0	72.0	市への愛着を感じている度合いが高いほど、地域行事へ参加する割合が高いため、各地域の楽しいイベントや伝統文化に関連する情報など、松江の魅力を感じる情報発信を行っていき、郷土愛の醸成を図る。	毎年＋2%	文化スポーツ部
	New 松江市文化協会加盟団体の構成員総数	人		5,800 5,676	5,800 5,465	5,800	5,800	構成員総数は減少傾向にある。引き続き、加盟団体の発表や展示等の開催を支援し、文化活動の活性化を図るとともに、幅広い世代への文化協会加入促進を働きかける必要がある。 (R8中間:7月末時点)	5,800人を維持	文化スポーツ部
資金確保	ふるさと納税受入額【4月～3月】	千円	500,000 515,117	600,000 661,679	700,000 131,016	700,000	700,000	寄附額が前年比で約128%と伸びており、返礼品の充実や返礼品画像の魅力度向上の取り組みの成果が出ている。 (R8中間:7月末時点)	当該年毎に目標値を設定	産業経済部
	New 観光入込客数（観光施設・イベントなどの入込客数／【1月～12月】）	万人		1,020 951	1,040 470	1,060	1,080	松江城天守国宝指定10周年を記念し、特別版お城EXPOin松江や雲海松江城などのイベントを開催し県内外から多くの観光客で賑わった。また、NHKの連続テレビ小説「ばけばけ」により、小泉八雲記念館や小泉八雲旧居、周辺施設などで対前年増となった。ドラマ終了後も松江の魅力を発信し、持続的な誘客につなげていく必要がある。 (R8中間:7月末時点)	毎年＋20万人	観光部

七つの柱	KPIの名称	単位	上段:目標値 下段:実績値 R6	R7	R8	R9	R10	R7年度 実績値の分析、課題、今後の方針	目標値の 考え方	担当部署
 古代から近代までの 豊富な文化財	国・県・市指定等文化財の新指定等件数	件	2 2	2 2	2 0	2	2	9/18 国指定（史跡）出雲国山代郷遺跡群の追加指定 12/23 松江市美保関伝統的建造物群保存地区の決定	年2件以上の 指定・追加指定	文化スポーツ部
	松江城天守登閣数【4月～3月】	人	460,000 398,675	470,000 441,244	480,000 139,823	480,000	490,000	国外からのツアー観光客や、県内外からの修学旅行者や家族連れなど、団体での登閣者も多く見られ、コロナ禍前のR1年度の98%まで回復した。 今後は、R9年からはじまる保存修理工事期間中も可能な限り登閣を継続するとともに、保存修理現場の見学会を開催するなど、修理のときしか見ることのできない貴重な機会を提供していく。 (R8中間:7月末時点)	R11年度の目標値500,000人に向け、段階的に設定（総合計画実施計画及び観光戦略プランと一致させる）	文化スポーツ部
 地域に根づく 伝統文化	(小6) 今住んでいる地域の行事に参加している 児童生徒の割合	%	69.0 58.8	71.0 57.5	73.0 —	75.0	77.0	地域の行事や地域をフィールドにした学習の機会も充実し、参加児童の割合も増えている。このような学習・活動機会を確保していくことが必要である。今後も、地域にある教育資源（ひと・もの・こと）を生かしたふるさと教育に引き続き取り組むとともに、公民館との連携により学習機会の提供を行い、地域課題に対する考えを持たせるような指導に取り組む。	毎年＋2%	教育委員会
	(中3) 今住んでいる地域の行事に参加している 児童生徒の割合	%	52.0 52.4	54.0 53.1	56.0 —	58.0	60.0	地域行事への参加・参画の機会も増え、参加生徒の割合も増加傾向にある。地域の一員として、行事の運営に携わるような仕掛け（あるいは体制）をさらに構築することが必要である。地域にある教育資源（ひと・もの・こと）を生かしたふるさと教育に引き続き取り組むとともに、公民館等との連携によりボランティア参加を促し、地域課題に対する考えを持たせるような指導に取り組む。	毎年＋2%	教育委員会
	New 松江伝統芸能祭の観覧者数（2年に1回開催）	人		— —	500 —	—	500	R8年度の松江市伝統芸能文化保護育成協議会代表者会議にて、令和9年3月7日に伝統芸能祭を開催することを決定した。 当日は、午前に松江市伝統芸能保護育成協議会に加盟する佐陀神能のユネスコ無形文化資産登録15周年の事業を行い、午後に伝統芸能祭を開催する計画となっている。	隔年開催で500人を維持	文化スポーツ部
 市民生活に根づく 茶の湯文化	New 4月24日は茶の湯の日だと知っている人の割合	%		37.0 37.0	39.0 47.0	41.0	43.0	Ｒ8年4月25日、26日にイオン松江ＳＣにて「茶の湯イベント」を開催した。 全体の参加者数は800名を超えた。R7年秋につづき、松江市PRキャラクター「おまっちぇ」が登場し、大変好評をいただいた。アンケート「茶の湯の日4/24」の認知度の問いに対して、約47%が知っていると回答した。今後もアンケートを継続し、経過を確認する。 (R8中間:4月実績)	毎年＋2%	文化スポーツ部
	明々庵及び赤山茶道会館の入館・利用者数【4月～3月】	人	13,212 15,609	15,900 18,245	16,060 3,219	16,220	16,390	R7年度はNHKの連続テレビ小説「ばけばけ」の効果で松江城周辺施設の観光客が増加したにもかかわらず、明々庵の観覧者は前年比で103.5%と効果が限定的であった。施設の魅力の発信強化や施設へのアクセス向上に資するサイン整備を検討する必要がある。 (R8中間:7月末時点)	明々庵の入館者毎年＋1.02% 赤山茶道会館は入館者維持	文化スポーツ部
 小泉八雲が五感で感じた 松江の生活文化	多文化理解を促進する事業への参加者数【4月～3月】	人	2,200 2,320	2,400 2,313	2,600 —	2,800	3,000	多文化理解を促進するため、出前講座やイベントを実施し、令和7年度は参加者数の目標を概ね達成した。また、令和8年3月に松江市多文化共生推進プランを見直し、これに基づき、学校への出前講座の活用促進や、公民館事業との連携による事業の充実を図り、参加者数の増を図る。	毎年＋200人	観光部
	小泉八雲記念館の入館者数【4月～3月】	人	92,000 89,562	100,000 175,195	102,000 73,565	100,000	100,000	R7年度の入館者数は前年比191.4%と大幅に増加した。NHKの連続テレビ小説「ばけばけ」の放送決定以降入館者が増加し、9月末の放送開始後はさらに増加し、目標値を大きく上回った。朝ドラ放映の効果により、注目度が高まり入館者が増加している。好機を活用し多くの方に小泉八雲の魅力を発信するため、引き続き受け入れ体制強化や施設PRを継続していく。 (R8中間:7月末時点)	100,000人を維持	文化スポーツ部

七つの柱	KPIの名称	単位	上段:目標値 下段:実績値 R6	R7	R8	R9	R10	R7年度 実績値の分析、課題、今後の方針	目標値の 考え方	担当部署
 市民とともに育む 文化芸術活動	松江市民美術展来場者数	人	1,800 1,349	1,400 0	1,450 —	1,500	1,550	開催予定日の直前に会場の島根県立美術館の空調設備の故障により開催を中止としたため、来場者は0となった。公募作品の出品数は、前年度比114%であり、取組の成果が出ているものと分析している。 3月には中止とした松江市民美術展の代替として「松江市民美術展優秀作品展」を開催し、856人の方に来場いただいた。	毎年＋50人	文化スポーツ部
	松江市文化協会加盟団体の団体数	団体	115 96	95 98	95 100	95	95	加盟団体数は増加しているものの、若い世代で構成される加盟団体は少ない。加盟団体の日頃の成果を発表する「松江市民文化祭」のPRを強化するとともに、若者へ繋がりやすいSNS等による周知を図る必要がある。 (R8中間:7月末時点)	95団体を維持	文化スポーツ部
	しいの実シアターの利用者数【4月～3月】	人	6,169 4,041	5,300 3,648	3,000 1,037	3,000	5,300	森の演劇祭開催年だったがR4年開催時と比較して施設利用者減となっている。森の演劇祭で来場いただいた方に今後の公演事業でも来場していただけるようリピーター客の確保など、引き続き施設PRに取り組んでいただきたい。 (R8中間:7月末時点)	森の演劇祭開催年は5,300人、 それ以外の年は3,000人	文化スポーツ部
 伝統文化芸術の 拠点となる施設	プラバホール施設利用者数【4月～3月】	人	100,000 90,156	104,000 86,044	108,000 24,597	112,000	116,000	昨年度より利用者数が減少している。引き続きプラバホールを身近な施設として愛着を感じられるよう、魅力の発信に努め、利用者増加に努める。 (R8中間:7月末時点)	R11年度の目標値120,000人に向け、段階的に設定	教育委員会
	出雲かんべの里利用者数【4月～3月】	人	56,000 120,381	120,000 113,412	120,000 27,057	120,000	120,000	昨年度より利用者数が減少している。引き続き利用者増加に努める。 ・特定非営利活動法人八雲総合サービス協会指定管理 ・利用者数113,412人（民話館7,796人、工芸館.99,063人、かんべ茶屋6,553人） (R8中間:7月末時点)	毎年120,000人	教育委員会
 宍道湖・堀川・中海等の 松江的景観	水辺の公共空間活用日数【4月～3月】	日	175 259	370 366	395 —	395	406	「水辺の利活用推進事業」での各種イベント開催や、松江市役所新庁舎テラスの活用などにより利用日数が増加した。 ハード及びソフト両面から利便性の良い水辺と融合した公共空間の整備や居心地良く歩きたくなる道路整備を進めることにより、中心市街地の回遊性向上と賑わいあるまちなかの創出を図る。	湖畔公園整備事業やソフト事業による利用日数の増加	都市整備部
	New 宍道湖を身近に感じる人の割合	%		92.0 93.1	92.5 —	93.0	93.5	宍道湖北岸の親水護岸と千鳥南公園の整備を進めている。R7.3には松江市役所前エリアに「水辺ステージ」が完成し、イベント開催などに活用されている。引き続き水辺の利活用を推進することで、宍道湖をより魅力的な場所として、市民や観光客にPRしていく。 *数値調査については次回R10に実施する。	毎年＋0.5%	文化スポーツ部